

全国研究会議準備委員会
準備委員長 安黒 務

宇田進著『総説現代福音主義神学』の序文に、キリスト教の教理や信仰告白の“シンボル化”と、それらの“非神話化論的な解釈”の広がり、教理的立場の問題における“ボーダーレス現象”（神学上の歴史的・伝統的な“線引き”を棚上げする傾向）という今日の現象が指摘され、①今日の神学的状況と動向に関する分析と情報の提供、②注目すべき問題点と主要な争点の指摘、③そして、福音主義を標榜する諸教会の“核”を成すその“信念体系”の確認と、それに関する一層の掘り下げへの一つの呼びかけと、そのための一つの材料になればと、書き記されている。このことは準備委員長として、今神学研究会議に期待するものと軌を一にしている。

まず準備委員長として奉仕者に期待することは、講演者・応答者、争点発題講演者・パネルディスカッション、総括とガイドラインの提示の一連の討議において、福音主義神学の「積義」「教理」「歴史と実践」の①今日置かれている状況と動向の分析と情報の提示、②問題点と主要な争点の指摘、そして③我々福音主義を標榜する諸教会におけるガイドラインの提示を試みていただくことである。

次に、準備委員長として参加者に期待することは、今会議は学会の歴史と経緯を熟知しておられる学会内部の講師に我々の課題を明確にさせていただくとともに、参加者には質疑とディスカッションの多くの時間を提供している。これは、参加者が、単に観客として参加されるだけでなく、発言するにしろ心の中で問答するにしろ質疑やディスカッションの只中に身を置き、競技者として参加していただくことを願ってのことである。

そして最後に準備委員長として全会員に期待することは、「我々の福音主義神学の行くべき方向」として、我々は今の時代に福音主義者としてのガイドラインに立脚しつつ、課題を直視し神学の研鑽に専心従事する。しかし同時に、立場の異なる人々の問題提起にもその真理契機を認識し、自らの神学構造の中にそれらを正しく位置づけ、真の神学的解決を示すことにより、自らの神学を成熟させる、このことをも視野に置いて方向性を模索していただくことである。

アクセス

電車で来られる方

- ◆ 生駒まで
近鉄難波から快速急行20分
近鉄西大寺から快速急行10分
- ◆ 近鉄生駒駅から
近鉄生駒ケーブルで一駅「宝山寺」駅下車 徒歩5分
／(近鉄生駒駅から徒歩30分、タクシーで5分)

車で来られる方

- ◆ 第二阪奈道路 老分（いちぶ）出口から15分
- ◆ 関西聖書学院(KBI)には広い駐車場があります。

交通案内



問い合わせ・申し込み先

〒671-4135 兵庫県宍粟市一宮町安黒389
一宮基督教研究所:安黒務(全国研究会議準備委員長)
電話: 050-5859-6194, FAX: 0790(72)0235
電子メール: aguro@mth.biglobe.ne.jp
郵便振替口座:「一宮基督教研究所」01110-0-15025
<http://www.evangelical-theology.jp/>

日本福音主義神学会
2014年度全国神学研究会議
案内状

11月4日(火)、5日(水)、6日(木)
会場: 関西聖書学院(KBI)

福音主義神学、その行くべき方向
— 聖書信仰と福音主義神学の未来 —

EVANGELICAL THEOLOGY,
WHERE SHOULD WE BE GOING ?



KBIチャペル: ガリラヤ

全国研究会議会場

〒630-0266 奈良県生駒市門前町22-1
Tel.0743-70-8600, Fax.0743-70-8601
HomePage: <http://www.kbiwave.com>
Mail-Address: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp



プログラム

11/4(火)

※簡略版&詳細版レジュメの提出希望期間(安黒にメール添付をお願いします: aguro@mth.biglobe.ne.jp)

- ・研究発表者レジュメ 四月末(簡略版)と九月末(詳細版)
- ・応答者レジュメ 七月末(簡略版)と九月末(詳細版)
- ・争点発題者レジュメ 八月末(簡略版)と九月末(詳細版)
- ・総括・ガイドラインレジュメ 九月末

※提出順にJETSホームページに掲載(パスワード付き)させていただきます。奉仕者・参加者は、九月末以降の詳細版を各自ダウンロードし印刷し持参してください。(PW: jets)

※会議当日には希望者のみに「レジュメ集」を200円で販売します。

13:30 受付開始

14:30-15:00 開会礼拝:

司会・開会宣言:

始めのみ言葉:大田裕作氏

15:00-15:20 オリエンテーション

15:20-15:50 テーマについて趣旨説明

16:00-17:00 神学生集会

17:00-18:30 夕食

18:30-20:30 研究発表 I (基盤)

- ① 福音主義神学における聖書積義 (60分)
講演:津村俊夫氏
- ② 応答(30分):山崎ランサム和彦氏
- ③ 質疑(30分:一人3分)

11/5 (水)

・朝食:それぞれの宿泊施設にて

9:30-11:30 研究発表 II (基盤)

- ①福音主義神学における教理 (60分)
講演:関野祐二氏
- ②応答 (30分):正木牧人氏
- ③質疑 (30分:一人3分)

11:30-13:00 昼食

13:00-16:20 研究発表 III (状況)

- ①福音主義神学と歴史・実践
A.欧米の歴史・実践 (90分) 講演
: リチャード・キャンブル氏 (スチュアート・ラウアー氏)
- B.日本の歴史・実践 (60分) 講演:藤本満氏
- ②応答 (30分):金井由嗣氏
- ③質疑 (20分:一人2分)

16:30-17:30 分科会発題 (争点)

分科会	積義	教理	歴史・実践
発題講演者	鎌野直人氏	後藤喜良氏	藤原淳賀氏

17:30-19:00 夕食:(各部会理事と奉仕者は懇親会)

19:00-21:00 分科会パネル・ディスカッション

(司会兼総括者は、講演者、応答者、発題者共に)

分科会	積義	教理	歴史・実践
司会 (兼総括者)	木内伸嘉氏	児玉剛氏	大庭貴宣氏

11/6 (木)

・朝食:それぞれの宿泊施設にて

9:30-11:30 分科会パネル司会者による総括発表:
未来へのガイドラインを求めて (全体集会)
総括各20分、質疑各20分 (一人2分)

積義の未来とガイドライン	木内氏	質疑
教理の未来とガイドライン	児玉氏	質疑
歴史と実践の未来とガイドライン	大庭氏	質疑
全体総括		

11:40-12:00 閉会礼拝

メッセージ:大坂太郎氏 (新全国理事長)
アナウンス

12:00-13:30 昼食・自由解散

主題の趣旨説明

準備委員（書記）：滝浦 滋

1) 日本福音主義神学会は、1970年4月に、聖書の十全靈感を信じる福音主義キリスト教の立場に立つことを共通の教義とし、教会の健全な成長と発達のために奉仕することを目的として誕生し、以来、43年にわたり、東部・中部・西部の部会に分かれて、研究会や講演会を行ってきた。（日本福音主義神学会公式HPより）

2) 今回の全国研究会議では、「福音主義神学」の定義の問題、「福音主義神学」というものが別の独立した神学としてありうるのか？、という問いを正面から取り上げたい。それは当初からあった議論だが、今日、一層問われている。それはなぜか。

3) 第二次世界大戦後のアメリカと日本の福音派の中で始まった、固有名詞としての「福音主義神学」のIdentityは、それぞれの「福音主義神学会」の歴史であきらかなように、「聖書信仰」から源を発していた。

日本におけるその簡単明瞭な例証は、日本福音主義神学会規定に、教理的には「聖書信仰」についての記述しかないという事実である。（参照：第三条（立場）本会は聖書の十全靈感を信じる福音主義キリスト教の立場に立つ。第四条（目的）本会は前条の立場に立って、神学的研究を行い、相互の交流をはかり、教会の健全な成長と発展に奉仕することを目的とする。）

また、米国福音主義神学会ETSの起源が聖書信仰の一致のためであったことも、明白である。（公式HP：<http://www.etsjets.org/about>；“Founded in 1949, the Evangelical Theological Society (ETS) is ... devoted to the inerrancy and inspiration of the Scriptures and the gospel of Jesus Christ.” 米国ETS創設時の唯一の教理基盤は聖書の無誤性で、創設時の教理基準は次の一文のみだった：“The Bible alone and the Bible in its entirety is the word of God written, and therefore inerrant in the autographs.” from Billy Graham Center Archives; Records of the Evangelical Theological Society - Collection 243 なお現在は三位一体の規定が加わっている。）

従って、アメリカと日本の福音派の固有名詞としての「福音主義神学」におけるこのような歴史的な「聖書信仰」の基盤的位置から見ると、その定義の揺れと、その各教団における位置の変動によって、「福音主義神学」全体の基盤が揺れ動くことになり、従ってその結果、その定義が問われることになっているのは当然と言える。

4) 「聖書信仰」を基盤として、極めて広い神学的な多様性を包含するフォーラムが形成されてきた。これが「福音主義神学」である。これは、聖書信仰を核とする福音派エキュメニズムと言えよう。改革・長老派、福音的ルーテル派、バプテスト、アルミニウス

主義諸教派（ホーリネス等）、英国国教会福音派、ブレザレン・ディスペンセイショナル諸教派、ペンテコステ諸教派などが、それぞれの多様な神学とともに「福音主義神学」に含まれている。そして、結果として、この諸神学の多様性において、「聖書信仰」を一致点、対話点として、それぞれの立場の聖書的な改革と協力を目指す「福音主義神学」による健全な福音派エキュメニズムが、福音派をつなぐ絆の一つとして機能してきた。多くのキリスト教マスメディア・出版、聖書翻訳、宣教活動、救援・慈善活動、学生伝道等が、その福音派の連携から出、それに支えられて世界を股にかけて活発に活動している。

5) 今日、その神学的多様性からはもともと当然のことなのではあるが、特に、この広範な広がりを持つ福音派の運動の、軸となる聖書信仰についての揺れから、福音派のIdentityが問われることが多く、福音主義神学も例外でなくなっている。

そこで、

- (1) 福音主義神学の「基盤」（聖書信仰）を今日の神学各分野を踏まえて確認し、
- (2) 福音主義神学について、各会員、各神学校、各教団のおかれている「状況」を知り、
- (3) 福音主義神学の未来の方向の多様性における一致を求めて「争点」をあげつつ話し合う、機会として、今回の全国研究会議を構成したい。

申し込み方法

●参加費と食費(フリータイムの飲物・茶菓代込)

全期間一般 6000円(早割5000円)+食費
神学生・学生 3000円+食費
部分参加一般価格(神学生・学生は集会費のみ半額)

	11/4 (火)	11/5 (水)	11/6 (木)
集会費	2000円	3000円	2000円
昼食費	×	700円	700円
夕食費	1000円	1000円	×

※一般の全期間参加者には、早割(第一次締切 6/30までの申込者は1000円割引)があります。最終締切9/30、余裕ある場合のみ当日参加可。食事の申し込みなき場合は各自でご用意ください。朝食はそれぞれの宿泊所をお願いします。

●申込手順

今回は当日受付での事務処理を軽減するため、“郵便振替用紙による前納方式”を採用しています。

同封の「郵便振替用紙」、もしくは郵便局の「郵便振替用紙」に記入事項を記入し、参加費と食費の合計額を振り込んでください。振替用紙控えは、申込控え兼領収書として、当日持参してください。受付にて確認させていただきます。尚、振替用紙(あるいは当日申込用紙)のコピーを名札兼入場券として活用させていただきますことをご了承ください。資格確認のため、会場・食堂等への入場の際には必ずご提示ください。資格確認できない場合は入場できません。参加費未払いの当日参加の方は当日受付にてお支払ください。名札兼入場券をお渡しします。

●参加費・食費の郵便振替口座:

「一宮基督教研究所」01110-0-15025

●宿泊について

①「ホテル阪奈」(<http://www.hanna.ne.jp/hotel/index.html>):「準備委員長あぐろ」を申込窓口として58名分確保しています。打ち合わせ・連絡・調整等がありますので、準備委員・奉仕者等は「ホテル阪奈」宿泊をお願いします。(KBIまで車で10数分ほど・ゴルフ場ホテル・大阪の夜景を展望できる温泉・広い駐車場あり:特別価格:二泊朝食付き・KBIへの送迎28人乗りバス付きで合計11200円、チェックイン11/4集会後、チェックアウト11/6朝食後)先着順で申込を受け付けています。メール等にて「あぐろ」に直接お申込みください。

②満室になった後は、各自近辺の宿泊施設を自分でお申込みください。KBI近辺の宿泊施設情報はKBI事務室(伊達山)までお問い合わせください。

●なお、神学生のみ、関西聖書学院に特別宿泊が可能です。関西聖書学院事務室(伊達山)にお問い合わせください。神学生への宿泊の配慮については、貸布団利用1泊1200円 寝袋持参1泊500円、定員:男子学生9名、女子学生10名(学生寮にエキストラで入ることになります。)もし茶室を利用する場合、あと15名ほどは可能です。あわせて先着35名。KBI宿泊者の朝食は500円。KBI宿泊費と朝食費の申込・支払は、KBIの事務室に直接連絡して申込み。KBIに当日お支払いください。(KBIご宿泊の際の持ち物として、パジャマ類、タオル類のご持参をお願いします)

●申込期日:

申込開始 2014年1月1日

一次締切 2014年6月30日

最終締切 2014年9月30日

※ 定員300名。但し、余裕があれば当日参加も可能

●問い合わせ

全国研究会議とその振替申込に関する問い合わせは、準備委員長(あぐろ)が受け付けています。
〒671-4135 兵庫県宍粟市一宮町安黒389
一宮基督教研究所:安黒務
電話: 050-5859-6194, FAX: 0790(72)0235
電子メール: aguro@mth.biglobe.ne.jp

●『全国研究会議』の情報サイト(随時更新)

http://www.evangelical-theology.jp/jets-hp/jets_all_and_sections.htm

準備委員・講演者・応答者・争点発題者・争点統括者等のレジュメ等は随時掲載するとともに、メール等にも紹介していく予定です。情報案内希望者は準備委員長:あぐろにメールアドレスをお知らせください。

●振替用紙に書き込むべき項目

住所、氏名、電話・FAX番号、メールアドレス、携帯番号、所属部会名(会員の場合)、所属教派・教会・神学校名、役職名(神学生また学生の場合はその旨を明示)、参加の形態(全参加or部分参加)、必要な食事の申込、希望分科会名。

※案内状・申し込み用紙が足りない場合、上記のサイトから「案内状」とともに「記入項目付き郵便振替用紙」をダウンロードし、必要な枚数を印刷できます。